

平成23年10月11日

各位

株式会社ホスピタルネット
サクサ株式会社

ホスピタルネットとサクサが「カードタイマー利用データ 無線収集システム」を開発！

～医療現場でも安心の1mW特定小電力無線方式(920MHz)による
マルチホップ接続でカード式テレビのカード利用データを簡単に集計～

株式会社ホスピタルネット（代表取締役社長 武田利信）とサクサホールディングス株式会社の中核事業会社であるサクサ株式会社（代表取締役社長 越川雅生）は、テレビカード発行事業者向けの「カードタイマー利用データ 無線収集システム」を共同で開発し、平成24年1月より販売開始いたします。

病室などで利用されているプリペイドカード式のテレビシステムの運営において、「資金決済に関する法律」が施行されたことに伴い、プリペイドカードの未使用残高を管理することが求められており、カードタイマーのデータ収集に多くの人的稼働がかかるため、簡単に正確に未使用残高を把握できる本システムを開発しました。これにより、プリペイドカード式のテレビ等レンタル運営業者様の残高管理にかかわる手間を大幅に削減することができます。

本システムはサクサがセンサネットワーク技術で培われた無線技術と、ホスピタルネットの全国シェアトップ、累計60万台の実績を持つテレビ視聴カードシステムを接続し、カード利用データを集め「資金決済に関する法律」に沿った運営のお手伝いを可能とします。

※カードタイマーで制御しているものは、TV、冷蔵庫、電話、洗濯機、乾燥機などがあります。

業界初である医療現場でも安心の出力1mW、920MHz特定小電力無線を利用した無線通信を実現しフロア毎にカードタイマーの利用状況無線端末のマルチホップ通信により短時間で収集することができます。



■システム概要

(1) 本体

本体は、スイッチなどによる設定で「親機」、「子機」、「中継機」、「データ収集機」の4種類の装置として運用することが可能で、それぞれの用途に合わせて電源給電方法もカードタイマーからの給電、ACアダプタ、USBバスパワーと選択することができます。

(2) マルチホップ通信^{*1}

本システムは、病室用のカードタイマー（テレビ・冷蔵庫などの課金装置）の課金情報を920MHz帯無線のマルチホップ通信で親機、子機、中継機を介してデータ収集する無線装置で構成されるシステムです。

(*1) マルチホップ通信

基地局がなくても、他の端末を中継しながら通信エリアを拡大することができる通信方式

■主な特長

(1) 医療機器で利用される429MHz帯や、無線LAN(Wi-Fi)などで主に利用される2.4GHz帯との干渉を回避することができる理由から、920MHz帯（ARIB STD-T96 準拠）の周波数を利用しています。

(2) 送信出力は、ペースメーカーなどの医療機器へほとんど影響を与えないとされる1mWです。

(3) それぞれの無線装置間をマルチホップ通信で接続し、ネットワーク構築され、末端のカードタイマーが接続された子機データを親機まで繋げ、収集機によりデータを収集します。

■販売開始時期

販売開始：平成24年1月予定

以 上

〈本件に関するお問い合わせ〉

株式会社ホスピタルネット

担 当 : 箴部 (おさべ) TEL : 03-5840-0877

ホームページ : <http://www.hpnet.co.jp>

サクサ株式会社 ソリューション営業本部 営業企画部

担 当 : 荒木 (あらき) TEL : 03-5791-3930

ホームページ : <http://www.saxa.co.jp>

(参考)

カードタイマー利用状況 無線収集システム 概要図

